



日本の宝島“天草”の創造を目指して!

市政だより AMAKUSA 天草



「真夏の砂浜でフラッグをめがけて“猛ダッシュ”」

牛深町で「海の日フェスティバル海族祭」と「砂月海水浴場祭り」、「いさり火探検」が7月19日に同時開催されました。写真は「砂月海水浴場祭り」でのビーチフラッグ。出場者はスタートラインに横一列にうつぶせになって並び、スタートの合図とともにフラッグをめがけて猛ダッシュ。真夏の砂浜で、フラッグを奪い合う熱戦が繰り広げられました（詳細は10ページに関連記事）。

主な内容

- 行政改革の取組状況 …………… 2～3
- 交流人口の拡大による地域活性化を目指して… 4～5
- ふるさと応援寄附金 …………… 6
- 五和町・海べたエコエコウォーク …… 7
- 天草ほんどハイヤ祭り …………… 8～9
- 夏の思い出 in 天草 2009 …… 10～11
- 宝島の話 …………… 12～15
- みんなの広場 …………… 16～19

平成21年

9

1

No.82

行政改革の取組状況

平成20年度の成果と今後の計画

市では、「10年後の天草市を見据えた持続可能な行政運営の確立」を旨として、平成18年度から同22年度までの5年間を推進期間とする「第1次天草市行政改革大綱」を策定し、市民との協働による行政運営の推進など3つの基本方針を柱として、31の実施推進項目について行政改革に取り組んでいます。



▲7月30日に開かれた行政改革審議会

今回は、平成20年度の取り組みの内容・成果や今後の計画についてお知らせします。

平成20年度の取り組みの成果

行政改革に取り組み始めて3年目となった平成20年度は、これまでに制定した制度の積極的な運用に努めるとともに、行財政運営の健全化に向け、職員定員の適正化や民間委託などの推進、市税などの収納率向上対策などの取り組みを進めました。その結果、同18年度からの累計で10億6,553万1千円の歳入を確保。歳出においても19億7,259万9千円を削減することができました。

なお、平成20年度における、基本項目ごとの主な取り組み内容は次のとおりです。

1 市民との協働による行政運営の推進

自立した地域づくりの促進に向け、地域の自立に向けた人的・財政的支援をはじめ、地域づくり講演会や先進地視察研修、天草宝島マップの作成など継続的に取り組みました。

また、政策形成における市民参画を促す手段として、平成19年度に導入した「市民提案制度」「パブリックコメント制度」の普及と活用を推進した結果、市民提案には6件のご提案が寄せられ、パブリックコメントには7件の手続に対し、62件のご意見をいただきました。

民間委託などの推進については、同20年4月から地域健診個人負担金徴収業務の外部委託や志柿保育所の民営化が完了しており、水道メーター

2 経営感覚を取り入れた行政運営の確立

昨年引き続き、財政健全化計画に則った財政運営に努めており、自主財源の確保策として、市税や各種使用料などの徴収率向上対策や、利活用の予定のない市有財産の売却などに取り組みしました。

また、定員適正化計画に基づいた採用と勧奨退職の実施や給与制度の見直し、物件費の抑制などによる歳出の削減に取り組みしました。なお、平成21年4月1日現在の普通会計職員数は、昨年度より48人減の1,089人となっています。

さらに、基幹システム構築にあわせ同21年2月から本

3 質の高い職員による行政運営の確立

職員研修実施計画に基づき、職員の意識改革を旨とした接遇研修を実施するほか、国や県などへの派遣研修や市町村アカデミー、自治大学校研修なども積極的にを行い、職員の専門的な知識、技術の習得に取り組みしました。

行政改革大綱の進行状況の詳しい内容を記載した資料を、本庁・企画課や各支所・総務振興課、各出張所に備え付けていますのでご覧ください。

また、市のホームページでもご覧いただけます。

※詳しいことは、本庁・企画課行政改革係 ☎1111 内線1322へお尋ねください。

◆平成20年度の行政改革による効果額

項目		平成22年度までの目標	平成20年度までの実績
歳入確保	①市税等徴収	市税など徴収対策の充実による効果額… 3,400万円	7億2,568万円 市税等徴収：2億4,606万9千円 保育所保育料：58万4千円 市営住宅使用料：1,188万7千円 水道・簡水・下水道使用料：5,911万9千円 普通財産貸付料：197万2千円 前年度までの効果額：4億604万9千円
	②市有財産の利活用や売却	市有財産の利活用促進や売却による収入額… 2億円	3億3,751万5千円 市有財産売却額：8,052万4千円 市有財産貸付料：4,584万8千円 前年度までの効果額：2億1,114万3千円
	③新たな収入源の開拓	広告等収入額… 600万円	233万6千円 広報紙・ホームページ：39万3千円 広告封筒：194万3千円
歳出削減	④民間委託等の推進	ごみ収集、学校給食調理、学校主事、保育所に従事していた職員の退職後の業務を民間委託などで行った時の削減累計額… 6億7,500万円	1億3,580万円 平成20年度効果：1億2,670万円 前年度からの継続効果額：910万円
	⑤職員定員の適正化	職員削減による人件費削減累計額… 29億8,200万円（窓口業務の効率化や民間委託などの推進による人件費削減額除く）	13億1,600万円 平成20年度効果：6億6,500万円 前年度までの効果：6億5,100万円
	⑥給与制度の見直し	特殊勤務・住居・通勤・管理職手当の改正による削減累計額… 1億4,800万円	2,636万8千円 管理職手当の見直し：2,508万6千円 特殊勤務手当：128万2千円
	⑦物件費の抑制	物件費の削減累計額… 6億3,600万円	4億2,909万1千円 前年度までの効果：2億290万5千円 平成20年度効果：2億2,618万6千円

※市税等徴収に掲げている目標値には、市税の徴収対策に係る効果額のみを設定していますが、実績値には保育料などの徴収対策による効果額も計上しています。

◆平成20年度の取り組みに対する評価

実施項目	最終年度の目標に対する達成度の評価			実施項目	最終年度の目標に対する達成度の評価		
	所管課	推進本部	審議会		所管課	推進本部	審議会
市民活動団体の支援	C	C	C	補助金・負担金の見直し	C	C	C
自立した地域づくりの促進	C	C	C	物件費の抑制	C	C	C
政策形成における市民参画	B	B	B	第三セクターの経営健全化	C	C	C
男女共同参画の推進	C	C	C	特別会計・水道企業会計の経営健全化	C	C	C
分かりやすい行政情報の提供	A	B	B	病院事業のあり方の検討	B	B	B
インターネット技術を活用した情報提供	C	C	C	行政評価システムの構築	C	C	C
民間委託などの推進	C	C	C	イベントなどへの行政のかかり方の見直し	C	C	C
公の施設の管理運営の見直し	C	C	C	入札・契約方法の見直し	C	C	C
効率的・機能的な組織機構の見直し	B	B	B	天草広域連合のあり方の見直し	C	C	C
財政運営の健全化	B	B	C	情報化による行政事務の効率化と住民サービスの向上	B	B	B
職員定員の適正化	B	B	B	職員の意識改革	B	B	C
市税・各種使用料などの徴収率の向上や課税の適正化	A	A	A	職員の能力向上	B	B	C
公の施設の使用料の見直し	C	C	C	適正な人事配置	B	B	C
市有財産の利活用または売却	A	A	A	人事評価システムの構築	B	B	B
新たな収入源の開拓	A	A	A	職員提案による行政サービスの改善	B	B	C
給与制度の見直し	C	C	C				

【達成度の分類】

A…おおむね目標を達成したもの（進行率80%以上） B…事業に着手し成果が得られているもの（進行率60%以上） C…計画を策定し事業に着手しているが成果が得られていないもの（進行率60%未満） D…未着手または計画の検討段階。

交流人口の拡大による 地域活性化を目指して

天草市は、多彩な見所や体験ができる資源を活用して、観光産業の振興に力を注いでいます。今回は、市と法人化された(社)天草宝島観光協会が“観光圏”の形成を促進している「雲仙天草観光圏」の概要、同協会が取得した「第3種旅行業」や「天草宝島上陸証明書」の発行の取り組みについて紹介します。

雲仙天草 観光圏

国は、観光立国の実現に向けて、複数の観光地が連携して2泊3日以上滞る型観光地を目指す「観光圏」の形成を促進することとし、平成20年度から本年4月までに全国で30地域を認定しました。天草地域は、島原半島の自治体や観光協会などと「雲仙天草観光圏協議会」を設立し、本年4月に『雲仙天草観光圏』認定を受けました。主な概要は、以下のとおりです。

雲仙天草観光圏

<p>■観光圏の区域：長崎県島原市・雲仙市・南島原市 熊本県天草市・上天草市・天草郡苓北町</p> <p>■観光圏整備計画の期間：平成21年4月1日～同26年3月31日</p> <p>■数値目標の設定：観光入込客数 822万人→863万人 平均宿泊数 1.16泊→1.50泊 宿泊客数 238万人→262万人 年間消費額 627億円→690億円</p>	<p>国の支援と特例内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光圏整備事業費補助 ・旅行業法特例 ・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 ・海上運送法特例 ・共通乗車船券特例
--	---

雲仙天草観光圏協議会
長崎県、熊本県、島原市、雲仙市、南島原市、天草市、上天草市、苓北町、島原半島観光連盟、(社)天草宝島観光協会、上天草地域観光協会、苓北町観光協会、宇城市、宇城市観光物産協会

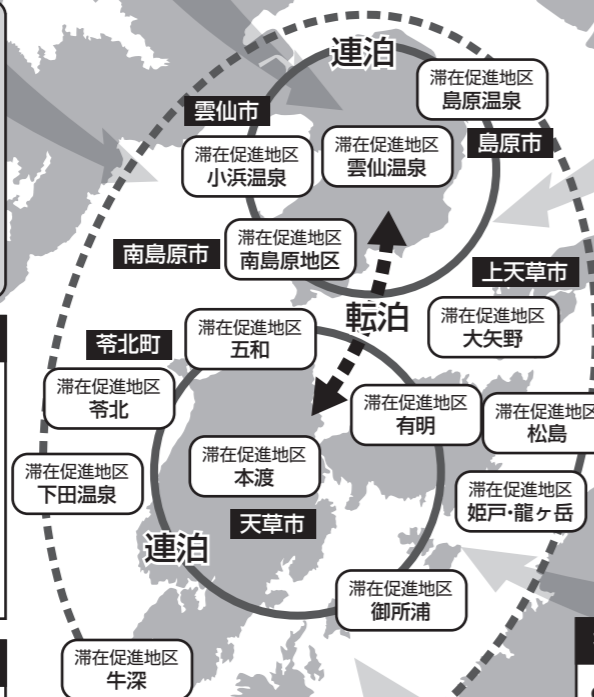
主な宿泊魅力の向上事業

- 着地型商品システム構築事業
- 宝島 天草ルートづくり事業



主な観光コンテンツ充実事業

- 世界ジオパーク認定推進事業
- 地域人材育成事業



主な交通移動の利便向上事業

- ノンストップバス運行事業
- 船の旅 空の旅 天草

主な観光案内・観光情報の提供事業

- 携帯サイト「天草島ナビ」構築事業
- 観光案内窓口強化事業



社会資本整備事業などの連携

- 九州新幹線ルートとの連携
- 熊本天草幹線道路整備事業
- 三角港交流拠点再生計画
- 農道整備事業（基幹・広域・一般）

農山漁村交流促進事業

- 農林漁家民宿開業支援事業

第3種旅行業を取得！

(社)天草宝島観光協会では、2月25日、県内の観光協会では初めて『第3種旅行業』を取得し、7月から着地型旅行商品の販売を開始しました。「着地型旅行」とは、都市部の出発地に所在する旅行業者が企画する「発地型旅行」に対し、地元の魅力を熟知した目的地の旅行業者が企画するものです。

近年、旅行ニーズは多様化しており、地域独自の魅力を生かした「着地型旅行商品」の開発が求められています。

同協会では、第1段として、夏休みのファミリー層をターゲットに「夏の天草、ウルトラ感動体験」と銘打って、「指令！1億年前にワープせよ!! だれでも気軽に化石ハンター」「天草・通詞島のブルーーツリズム 通詞島体験クラブ」「夏休みの自由研究お手伝いツアー」など、半日または1日のツアーを12本企画し発売しました。8月19日現在で、250人の観光客がツアーに申し込んでいます。



「だれでも気軽に化石ハンター」ツアー (御所浦町)



今後、当協会では、地域と連携しながら天草ならではの魅力ある着地型旅行商品を年間を通じて発売し、地域活性化につなげるとともに、協会の収益確保にもつなげていきたいと考えています。

※旅行業法改正：観光立国を目指す国が平成195月に旅行業法の改正を行い、第3種の旅行業の業務範囲を拡大したことで、隣接する地域の募集型企画旅行（パック旅行）の取り扱いができるようになりました。

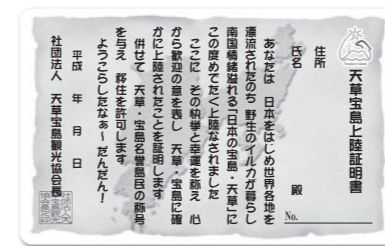
天草宝島上陸証明書を発行！

(社)天草宝島観光協会では、天草島外から訪れた観光客に対し、『天草宝島上陸証明書』をプレゼント（発行）する事業を8月8日から開始しました。

これは、天草を訪れた観光客への記念としてプレゼントすることで“天草ファン”になってもらうとともに、同協会会員の協賛による各種特典を付けることにより、天草島内での食事や買い物などを楽しんでもらい、天草地域経済の活性化につなげることを目的としています。

また、天草宝島上陸証明書を3枚（ただし、同一人物で発効日が異なる上陸証明書が必要）提示すると、プレミアムカード（天草ファン認定書）をプレゼント。プレミアムカードの特典として毎月抽選で天草の特産品をプレゼントします。

上陸証明書は、市内宿泊施設、市内観光案内所などでもらうことができます。協賛店の情報は、当協会ホームページや当協会携帯サイトでも確認できます。



上陸証明書



プレミアムカード

【問い合わせ先】(社)天草宝島観光協会 ☎2243



▲短冊に参加したイベントの感想などを書き、環境にやさしい紙風船に付けて天神山山頂から飛ばしました



▲じょうずにできた竹炭

炭作りに参加して



五和東中学校2年 金子大樹さん

竹炭作りは、初めての体験だったので、少し難しかったです。できあがった竹炭を海に沈めたので、魚が増えてほしいです。また、環境に良いことをしたので、今日一日が気持ち良かったです。

炭を焼いて海に沈め、300年前の産業革命以前の美しい環境を取り戻すため、県内を中心にアジアやヨーロッパなど世界各地で活動を展開。



「環太平洋浄化300年計画」代表 溝口秀士さん

海の日の7月20日、五和町の御領・鬼池・二江地区の各まちづくり振興会が連携し、「海べたエコウォーク2009」が開催され、家族連れや中学生など約80人が参加しました。これは、同地区内の特色ある「海べた」の自然環境にふれながら、環境の大切さを実感してもらうことを目的に、昨年から実施しているもの。参加者は、御領・鬼池・二江の3つのコースから選んで、御領・亀島周辺でのシーカヤックや二江通詞島での塩作りなどを体験。また、昨年40年ぶりにウミガメがふ化した鬼池・松原海岸では、「環太平洋浄化300年計画」代表の溝口秀士さんを招き、御領石竹秋宵まつりで使用した竹灯ろうを再利用して竹炭作りを実施。できた竹炭は海に沈め、水質浄化に役立てました。参加者は、真夏の日差しが照りつける中、海の日を満喫していました。

きれいな海、天草の宝を大切にしよう!!



▲シーカヤックの乗船方法の講習を受ける参加者



▲海の散歩を楽しむ子ども



▲作った塩でにぎったおにぎりおいしいね!!



▲古代の塩作りに縄文人? (左)も登場!!



ふるさと応援寄附金

たくさんの応援をいただきました



●寄附の状況をお知らせします

「天草市ふるさと応援寄附金」が昨年6月に始まり、同事業への取り組みに対するご理解とご協力により、多くの応援をいただくことができました。寄せられた寄附金は、全国各地から3月31日現在で211人(227件)・786万6,000円の寄附をいただいています(詳細は右表をご覧ください)。寄附をいただきました皆さんはもとより、応援寄附金のPRをしていただいた市民の皆さんに心より感謝申し上げます。

●引き続き“天草ファン”募集中!

天草市は、藍より青い海や緑深い山々など豊かな自然に恵まれており、市民が安心して快適に生活できる環境づくりや産業の振興と地域間交流を図りながら、地域資源をいかしたまちづくりに取り組んでいます。これからも、『日本の宝島“天草”』づくりへの支援として、全国各地でご活躍の皆さんからの「天草市ふるさと応援寄附金」へのご協力を引き続きお願いします。また、市民の皆さんには、この取り組みをより多くの人に知ってもらうために、市外にお住まいの親類や知人の皆さんなどへのPRにご協力をお願いします。寄附の手続きについては、事前の申し込みが必要です。申込書は、直接電話で本庁・財政課へ請求していただくか、市のホームページから取得していただくことになります。

◆メニュー別の寄附件数と金額

1 “天草の宝”『地域コミュニティづくり』 ・10のまちづくり協議会と51地区振興会への支援・補助	140件・597万3,000円
2 “天草の宝”『安心して元気に暮らせる環境づくり』 ・高齢者などの体力・健康づくり事業や、安心して子どもを生み育てる環境づくり事業など	23件・56万9,500円
3 “天草の宝”『将来を担う子どもづくり』 ・少人数学級の推進や特別支援学級への補助教員の設置事業、学校図書館の活性化事業など	13件・25万5,000円
4 “天草の宝”『若者が安心して働ける産業づくり』 ・企業誘致促進事業や担い手育成支援事業など	14件・15万6,500円
5 “天草の宝”『拠点づくり』 ・市役所本庁舎の建設事業(平成27年度をめぐりに建設を予定)	4件・5万5,000円
6 市長おまかせコース ・特に事業の指定がない場合は、市長が必要と認める事業に活用	33件・85万7,000円

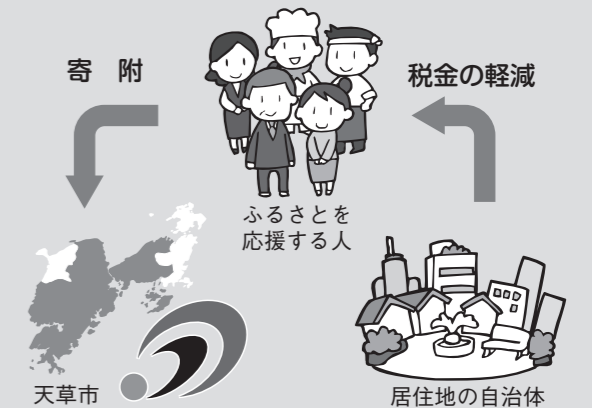
◆地方別の寄附人数と金額

地方名	人数	金額
北海道	1人	1万円
東北	1人	5,000円
関東	72人	269万2,000円
中部	8人	24万5,000円
近畿	54人	339万5,000円
中国	5人	4万5,000円
四国	1人	1万円
九州(熊本県内を除く)	35人	64万1,000円
熊本県内	34人	82万3,000円

【ロ】ふるさとと納税制度とは

ふるさとと納税制度とは、「ふるさとを応援したい」「ふるさとの発展に貢献したい」と思われる皆さんが、出身地などの地方自治体(都道府県・市区町村)に寄附をした場合に、寄附金の5,000円を超える部分について、居住地の住民税(所得割)のおおむね1割を限度に、所得税と翌年度に課税される住民税から税額控除されるものです(右イメージ参照)。なお、法人が寄附をした場合は、法人税を算定される際に、寄附金の全額を損金に算入できます。

◆ふるさとと納税制度のイメージ



【問い合わせ先】本庁・財政課財政係 ☎1111内線1363



▲ハイヤ大賞（総合1位）に輝いた“苓明高校郷土芸能部”



▲30チーム・約2,500人が参加。
各チーム独自のハイヤ踊りを披露！



▲山車大賞は天草中央総合病院・さわやかランドの「アンパンマン」



▲観客も総踊りを楽しみました

8/8

天草ハイヤ道中総踊り

8/1

天草子ハイヤ



▲元気いっぱいの踊りを披露！



▲「打ち水大作戦」に子どもたちも参加



8月1日から同8日にかけて盛大に開かれた「天草ほんどハイヤ祭り」。期間中はさまざまな催しが行われ、大勢の見物客が詰め掛けました。天草の夏の一大イベント「天草ほんどハイヤ祭り」を写真で振り返ってみましょう。

天草ほんどハイヤ祭り 2009

8/2

花火大会



▲7,000発の花火が夏の夜空を彩りました

8/2

踊りの競演



▲天草市民センターホールで、市内の10団体が踊りの競演！

泥まみれでハッスルプレー

しんわどろリンピック

8月16日、小宮地地区の水田で「第4回しんわどろリンピック」が行われました。これは、小宮地地区振興会主催で毎年実施しているもの。当日は、真夏の日ざしが照りつける中、市内から28チーム168人が参加し、ミニバレーや綱引き、二人三脚リレーを行いました。イベントでは、泥水を終始気にしながら競技をする人や泥まみれになる快感を味わう人などが、珍プレー好プレーを繰り広げ会場は大にぎわい。このほか、地元の特産品などが当たるお楽しみ抽選会もありました。



▲泥まみれになりながらミニバレーをする参加者

帰省客などで大にぎわい！

すもと夏祭り

8月13日、栖本福祉会館駐車場一帯で「すもと夏祭り」が行われ、家族連れや帰省客など約700人が訪れました。これは、栖本地区振興会が毎年開催しているもの。会場では、ストラックアウトなどのゲームやラムネ・ビールの早飲み競争、車エピのつかみ取りを実施。また、ダンスグループ“こうのすけ”や上天草市出身の歌手・MICAさんなどが軽快な踊りや美しい歌声を披露し、会場を盛り上げました。このほか、花火大会が行われ、訪れた人たちは、楽しい夏のひとときを過ごしました。



▲ラムネの早飲み競争。誰が一番早いかな？

真夏のビーチを満喫！

さざ波フェスタ

7月19日、四郎ヶ浜ビーチなどリップルランド一帯で「さざ波フェスタ2009」が開催され、若者や家族連れなど約15,000人が夏のイベントを楽しみました。これは、同フェスタ実行委員会主催で今年で16回目。今回は、環境保護の意識を高めることを目的に、参加者によるビーチなどでの清掃活動を実施。その後、魚のつかみ取りやビーチフラッグがありました。このほか、有明町出身の演歌歌手・天草二郎さんの歌謡ショーや花火の打ち上げなどが行われ、会場は大いに盛り上がりました。



▲魚とったぞお〜!!

小さな港から世界平和を祈る

教会の見える崎津みなとのフェスティバル

8月1日、「第21回教会の見える崎津みなとのフェスティバル」が崎津漁港広場一帯で開催されました。これは、同フェスティバル実行委員会主催で毎年実施。イベントでは、争いのない平和な世界への願いを込めて、参加者全員が祈りを捧げた後、餅投げや崎津ハイヤ踊り、富津小学校児童による和太鼓演奏などが行われました。また、暗くなりライトアップされた崎津教会の上空に、イベントのフィナーレとなる1,000発の花火が夜空に打ち上がり、訪れた約4,000人の観客を魅了しました。



▲平和への祈りを捧げる参加者

宝島の夏、天草の夏。

—夏の思い出in天草2009—

今年の夏、皆さんは何をして過ごしましたか？

市内各地では、さまざまな楽しいイベントが開催され、多くの皆さんが夏の天草を満喫していました。皆さん、たくさんの思い出をつくられたことでしょう。

今回は、夏の天草で開かれた各種イベントのようすを紹介します。

うしぶかの海を満喫！

海の日フェスティバル海族祭・砂月海水浴場祭り・いさり火探検

牛深まちづくり活動会議主催の「第5回うしぶか海の日フェスティバル海族祭」と、天草宝島観光協会牛深支部主催の「砂月海水浴場祭り」・「第28回いさり火探検」が7月19日に同時開催されました。

うしぶか海彩館をメイン会場に開催された「海の日フェスティバル海族祭」では、船釣り大会や天草海上保安署の巡視艇「あそぎり」の体験乗船を実施。またステージでは、牛深高校郷土芸能部によるハイヤ踊りやミュージシャン・ピエントによる「月光ライブ」などのほか、きらびやかなドレスに身を包んだタレント・英太郎さんの「お笑いものまねショー」が行われ、訪れた人たちは幻想的な音楽やものまねなどを楽しみました。



▲ライブ演奏を熱心に聞き入る観客



▲会場を爆笑の渦に包み込むタレント・英太郎さん

牛深町の砂月海水浴場で開催された「砂月海水浴場祭り」には、海水浴客など約400人が参加。砂浜に立つ旗を走って奪い合う「ビーチフラッグ」や浮き輪を投げてスイカをねらうゲームなどを楽しみました。また、網で仕切った海の中で行われたタコのつかみ取りでは、参加した子どもたちがヌルヌルとしたタコを歓声を上げながらつかまえていました。



▲タコをつかまえる子どもたち

夜には、暗がりには浮かび上がる集魚灯の幻想的な雰囲気と、取れたての魚を堪能できる「第28回いさり火探検」を実施。参加者約200人を乗せたフェリーは、漁場を目ざし牛深港を出港。集魚灯でおびき寄せられた魚を一網打尽にする「棒受網漁」を見学しました。また、参加者は船上で、漁でとれたばかりの新鮮な魚のバーベキューを食べながら、牛深ハイヤ保存会による牛深ハイヤ踊りを楽しんでいました。



▲集魚灯の幻想的な明かりに見入る参加者



▲気分は狩人!!獲物のタコを一突き

無人島で海水浴や漁業体験

～河浦ニューツーリズム地域事業～

7/23・24
河浦

7月23・24日、宮野河内上平地区の無人島「産島」で宿泊漁業体験が行われました。これは、河浦ニューツーリズム地域事業の一環で、市内の小学生13人が参加。同地区住民の指導を受けながら、船釣りやタコ突き、魚さばきなどを体験。また、夕食時に行われた交流会では、自分たちが捕ったタコなどをおいしそうに食べていました。参加した子どもたちは、無人島での生活がとても気に入ったようで、「来年もまたぜひ参加したい」と話していました。



Treasure Island Topics 宝島の話

天草西海岸の魅力を感じて!

～天草西海岸周遊バス運行中!～

7/25
天草

下田温泉ふれあい館ぷらっとを発着とする「天草西海岸周遊バス」の運行を、7月25日から開始しています。これは、天草を訪れた人たちに、同海岸の美しい景勝地や史跡などのたくさんの“宝物”を地元のガイドが案内することで、天草の魅力満喫してもらおうと実施しているもの。平成22年2月28日までの毎週土・日曜日やイベント期間中に、それぞれ1便ずつ運行します。乗車申し込みなどの詳細は、同館☎03726へお問い合わせください。



▲周遊コースのひとつ「旧庄屋上田家」を散策

芹生の郷づくりを目ざして

～芹生の郷の宣伝塔がお目見え～

7/12
五和

7月12日、手野公民館に「芹生の郷」の看板塔が設置されました。「芹生の郷」とは、手野地区の代名詞のひとつで、同地区に春の七草である“田芹”が多く自生していることから名づけられたもの。手野小学校の校歌でも歌われています。塔のデザインと製作は、同地区で景観づくりなどを行う手野まちづくり振興会・景観デザイナー部の“(てのての)もへじ會”が担当。材料は、鬼の城公園の遊具が再利用されています。皆さん、ぜひご覧ください。



▲設置された宣伝塔と“(てのての)もへじ會”の皆さん



▲久しぶりの演技に少し照れたようすで練習を行うOBの皆さん

往年の名役者が復活!

～青年団OBが「寸劇」の練習～

7/30
新和

小宮地地区振興会では、毎年開催している敬老会で趣向を凝らした演芸を行っています。今回は、新たに地元青年団OBによる「寸劇」を計画。メンバーはかつて、同団の一大イベントである“ふるさとの祭典”で、数々の舞台を演じてきた40歳から50歳までの名役者たち。7月から週2回、公民館で熱の入った練習を実施しています。9月6日㊤に予定している「小宮地地区敬老会」では、“涙あり笑いあり”の名演技で楽しいひとときが期待できそうです。



▲びっしりと張ったつるを返す参加者

“つら返し”で大きく育てカライモ

～生き生き健康農園・カライモのつる返し作業～

7/14
栖本

7月14日、浜地区に整備した「生き生き健康農園」20アールで、カライモのつる返し作業が行われました。これは、栖本地区振興会が、遊休農地の有効利用を図りながら、高齢者の健康や生きがいづくりを目的に実施しているもの。このつる返し、地元では“つら返し”と呼ばれ、生育管理を行ううえで欠かせない作業。参加した老人会の皆さんは、順調に育つつるを返し、久しぶりの作業に時には語らいながら、昔を懐かしむように作業していました。

島伝統の漁を肌で実感!

～地元中学生がとんとこ漁を体験～

8/4
御所浦

御所浦中学校と御所浦北中学校の生徒が8月4日、網の仕掛けが船体に当たる音から名前が付いたといわれる「とんとこ漁」を体験しました。これは、市教育委員会が伝統的な漁法を学ぶことにより、自然の恵みに感謝することを目的に毎年実施。当日は、両校の1年生27人が参加。田中雅義さんら地元漁師の指導のもと、御所浦港から約5km沖合いで、網引きなどを行いました。参加した生徒は、普段できない体験や大漁の魚に興奮していました。



▲一生懸命に網を引くようす

みんなで遊休農地をなくそう!

～ひまわりの種植え付け作業～

7/16
有明

7月16日、上津浦・永田地区の遊休農地20アールに、ひまわりの種の植え付けを行いました。これは、市農業委員会が、遊休農地の有効利用の啓発などを目的に実施。当日は、新和・上島地区の農業委員などのほか、浦和小学校4年生27人が野外活動の一環で参加。参加者は、約3万粒のひまわりの種をていねいに植え付けていました。開花は9月中旬の予定で、10月上旬まで楽しむことができます。皆さん、ぜひご覧ください。



▲ていねいに種を植え付ける参加者

林剛玄さんが空手道世界大会優勝
～第10回国際松濤館世界空手道選手権大会～

7月23日から同26日にかけて、ギリシャ・アテネで開かれた「第10回国際松濤館世界空手道選手権大会」の“男子個人形”と“団体組手”の部で、久玉町の林剛玄さんが優勝し、2冠を達成しました。同大会は、空手道・松濤館流の世界大会で、67の国と地域から選手が参加。林さんは、4歳から空手を始めて26年。世界大会は、ジュニア時代を含め3回目の出場。林さんは「優勝は、皆さんの声援のおかげ。次回もがんばって出場したい」と話していました。



▲安田市長へ優勝報告に訪れた林さん(左)

互いの文化にふれ友好を深める

～エンシニタス市から高校生などが来市～

7月25日から同30日にかけて、姉妹都市・米国エンシニタス市の高校生など5人が本市を訪れました。これは、同市との教育交流の一環で、毎年交互に交流団を派遣しているものです。期間中、交流団一行はホストファミリー宅に滞在。同27日には、西の久保公園内のお茶室でお茶会を体験し、慣れない正座に悪戦苦闘しながらも、講師の手ほどきを受け見事な“お点前”を披露していました。このほか、牛深東中学校生徒との交流会などが行われました。



▲ていねいにお茶をたてるエンシニタス市の皆さん

離島の暮らしと、白亜紀の歴史にふれる

～天草市内地域間交流推進事業～

御所浦地域で、市内の子どもたちを対象とした「天草市内地域間交流推進事業」の受け入れが始まりました。これは、島の文化や暮らしを体験してもらうことなどを目的に実施。初の受け入れとなる8月10日には、本渡地域の西浜地区と船之尾地区の子ども会員12人が参加。地元民泊しながら化石発掘やイルカの見学などを楽しみました。

同事業の受け入れは、平成22年2月末まで。詳細は、御所浦アイランドツーリズム推進協議会 ☎01080へ。



▲化石発掘を楽しむようす

夏の天草に笑いの渦！

～よしもと爆笑夏祭り～

8月16日、天草市民センターホールで「よしもと爆笑夏祭り」が開催され、テレビなどで活躍する人気芸人をひと目見ようと、約700人が会場に詰めかけました。

イベントでは、人気お笑いコンビの“ハイキングウォーキング”をはじめ“フルーツポンチ”や“ザ・パンチ”などが出演。おなじみのギャグや漫才を披露したり、天草の話題をおりませながら観客を巻き込んだりして、会場内は終始笑いの渦に包まれていました。



▲出演したお笑いコンビの皆さん

竹灯ろうの明かりでお出迎え！

～下田南街路・竹灯ろうづくり～

8/9
天草

8月9日、JA下田南支所駐車場で「竹灯ろうづくり」が行われました。これは、下田南地区振興会がお盆の帰省客に、竹に包まれ優しくともる道明かりを楽しんでもらおうと、初めて実施したもの。作業には、地区住民30人が参加。竹をハート型に切り抜くなど、趣向を凝らした竹灯ろう約250本を製作。竹灯ろうは、同13日から15日まで、下田南小学校から小田床漁港までの市道沿いに設置され、こぼれるろうそくの明かりが、まちを優しく包み込みました。



▲趣向を凝らした竹灯ろうを製作する皆さん

手づくりの水鉄砲で“飛ばしぐら”

～小学生と高齢者の交流会～

8/11
倉岳

宮田地区振興会は8月11日、宮田公民館で同地区の小学生と高齢者の交流会を実施し、23人が参加しました。

小学生たちは、高齢者からノコギリや小刀の使い方などの手ほどきを受け、慣れない手つきで竹を切って水鉄砲作りを体験。完成後は、水をどこまで遠く飛ばせるかを競う“飛ばしぐら”を行い、参加者は水しぶきでびしょ濡れになりながらも、「自分の水鉄砲が一番」とばかりに思い切り水を飛ばしあっていました。



▲自分で作った水鉄砲で“飛ばしぐら”をする小学生たち

真夏の新成人の誓い

～牛深地域成人式～

8/16
牛深

8月16日、「牛深地域成人式」が牛深総合センターで開かれ、新成人183人が浴衣姿などで出席しました。同地域では毎年、お盆の帰省時期に成人式を開催。式典では、安田市長が「皆さんの若いエネルギーと行動力に大いに期待します」と激励。その後、新成人を代表して松本朋樹さんが、「社会人としての責任を胸に、勇気と信念を持って行動することを誓います」と宣誓しました。式典終了後は、友人との久しぶりの再会をみんなで楽しんでいました。



▲成人者宣言をする新成人の松本朋樹さん

星空の下、映画やショーなどを楽しむ

～サマーフェスタin本町～

8/16
本渡

8月16日、本町小学校グラウンドで「第8回サマーフェスタin本町」が開かれ、家族連れや帰省客など約400人が参加しました。これは、本町地区振興会などが毎年開催しているもの。会場内では、“星空の下の映画会”が実施され、参加者は同校グラウンドに設置されたスクリーンで映画を鑑賞しました。また、同地区住民によるカキ氷・焼き鳥などの出店や大道芸人による曲芸ショーなどが行われ、楽しいひとときを過ごしていました。



▲曲芸ショーを楽しむ観客の皆さん



広場

市長随筆



赤潮の発生を 目の当たりにして

7月に有明海で発生した赤潮は、有明海全域と八代海まで拡大し、特に今回は、過去に例のない牛深地域まで広がり、本市の養殖漁業などに甚大な被害をもたらしました。関係者の皆様には心からお見舞い申し上げます。

私も御所浦から新和、牛深と視察して回りましたが、これほど広範囲にわたり、海の色が茶褐色に変色しているのを目の当たりにしたのは初めてで、強い衝撃を受けました。

今年は、本来の梅雨時期に雨が少なく、梅雨明け宣言がいつまでも出されない中で、雨の日が続きました。今回の赤潮の発生も、大雨と日照時

間が関係したものとわわれています。

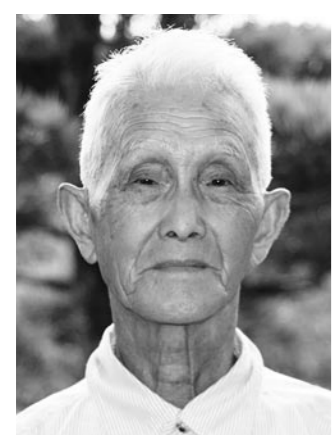
全国各地では、局地的な集中豪雨が発生し、何十年に一度という想定を超えた記録的な雨量と被害をもたらし、また、大規模な竜巻の発生や日本近海で熱帯低気圧が台風に発達するなど、これまでに考えられなかったことが起こっています。

このような状況に対して、行政は万全の体制で臨むこと、そして、私たち一人ひとりには、未来への警告として、心に刻まなければならぬと強く感じています。

天草市長 安田 公寛

宝島の健康 よさ屋

しまつ
坂上 四末さん
(栖本町古江・79歳)
—— 毎日の楽しみは？
農作業が大好きで、毎朝5時ごろには田んぼや畑に出かけます。米はもちろん、



カライモ、ほうれん草、インゲン、玉ねぎ、白菜など、季節に応じたいろいろな野菜を作っています。田んぼや畑の手入れをしたりするのが、何より生きがいです。

—— 健康の秘訣は？
まずは、自分の体力に合わせて無理をしないこと。また、温泉センターで芝居を見ながら仲間と和気あいあいに過ごしていることが大病もせず、健康でいる秘訣だと思っています。



いけざき けんご
池 謙五さん (五和町鬼池・26歳)

家業の醤油醸造の仕事に就いて2年目になります。学生時代などに麹菌について勉強したことを生かして、こだわりの「ものづくり」に励んでいきたいと思っています。趣味はドライブ。天草に帰ってきて、これまで知らなかった景色もたくさんあります。なかでも、天草町の西海岸の風景がとて素晴らしいですね。



大好きなプール遊びを楽しむ園児たち

地域で輝くすこやか新和っ子!!

小宮地保育所 (新和町)

小宮地保育所(大野玲子所長・全園児58人)は、緑の山々に囲まれた場所にあり、広々とした園庭では、好奇心いっぱいの子どもたちが、自転車乗りや泥んこ遊び、木登りや虫とりなどをして元気よく遊んでいます。園のはぐくむ子ども像として、特に「あいさつができる子ども」「絵本が好きな子ども」「食べることの楽しさ、大切さを感じる子ども」を目標としています。

また、町内の保育所や小・中学校、地域、保護者が連携し“地域で輝くすこやか新和っ子”の育成に取り組んでいます。新和町の豊かな自然環境を保育に生かし、いろいろな体験と人とのかわりの中で心とからだが大きく育ってほしいと願っています。

遊びや生活を大切にしよう!
亀川保育園(亀場町)

亀川保育園(江崎静子園長・全園児112人)では、先日子どもたちの大好きな遊び場である「自然の森」で見つけた桑の実を使ってジャム作り挑戦。しかし、園児たちは初めての経験で作り方が分からず、本で調べたり、家庭で聞いてきてくれる子もいる

中、1度目は焦がしてしまい大失敗。どうしてだろうと一人ひとりが考え、水の量を調節したり、根気強く混ぜ続けたりしながら、やっとジャムを完成させました。「やったあ」と大喜びの子どもたちの表情は、達成感でいっぱい。いろいろな体験を通して、子どもたちが自分で考え行動する力を身につけ、「自主性・意欲・思いやり」の心が育つよう、毎日過ごしています。



笑顔いっぱい元気いっぱいのゆり組の園児



NHKテレビに出演したときのようす

僕たちの歌声を聞いてください

福連木小学校 (天草町) 6年 平井優哉

僕たちの福連木小学校は、全校児童23人という小さな学校だけど、一人ひとりが助け合ったり、地域の伝統を守っていることにとても誇りを持っています。その一つに「福連木の子守唄」の伝承活動があります。5月にはNHKテレビに出演し、みんなで歌いました。また、11月7・8日に福連木子守唄公園で“全国子守唄サミット&フェスタ”が開かれます。僕たちは、それに向けて1学期から一生懸命練習をしています。みなさんも、ぜひ見に来て僕たちの歌声を聞いてください。ほかにも、学校の「炭がま」で「炭焼き活動」を行っています。僕たちは、これからも地域の伝統を大切にしながらがんばっていききたいと思います。

ぼくのわたしの学校生活 自慢

なんでもがんばる 元氣いっぱいのはぐくむ子

楠浦小学校(楠浦町) 6年 渡邊 藍波

私たち楠浦小学校は、全校児童142人です。今年、次の二つのことを特にがんばっています。

一つめは「あ」の達人になろうです。「あ」とは、「あいさつ」「あたたかい言葉と行動」「後片付け」「安全」の四つです。私たちは、4月か

らこれらの達人になれるようがんばっています。

二つめは、「花いっぱい」の学校にしようです。本年度「人権の花運動」に全校児童で取り組んでいて、学年ごとの花壇やプランターに花を植えて大きくするように、草取りや水やりをがんばっています。そして、心の中にも、優しいきれいな花を咲かせたいと思います。

みを中心に、もっと学校がよくなるようがんばっていききたいと思っています。

私たちが、二つの取り組み



花の苗を植えるようす



煌めく人たち

「神輿を『かつご会』が20周年」

田中 開 さん (牛深町・61歳)

県内最大の漁港である牛深地域。同地域では、豊漁を願う神輿巡幸が江戸時代中期から行われている。ところが、昭和40年代から若者の著しい減少により神輿の担ぎ手を失い、トラックの荷台に神輿を積んで、町中を巡幸しなければならなくなっていた。

そこで、平成元年1月、近隣の有志が集まって、神輿を担ぐボランティア集団『かつご会』を創設。現在、会長を務める田中さんは「町おこしのために始めたことだが、この伝統文化を衰退させないた

めでもある」と熱く語る。この神輿巡幸は、毎年10月の第2土・日曜日に実施。50〜60人が神輿を担いで牛深町全域を練り歩く。その道中に御花や御樽などの奉納品を預かり、預かった家の前で神輿を激しくゆらし、その家の繁栄を祈念する。また、道中には「神輿かつご唄」を歌いながら練り歩く。現在、この唄の歌詞は100種類以上が歌い継がれている。

「10年ぐらい前から、見物人が増えており、活気が戻りつつある」と喜びを語る。また、「担ぎ手が創設した当時と同じメンバーなので高齢化してしまっていたが、最近若い人たちが参加してくれるのでありがたい。でも、もっと多くの若い人が参加してくれればいいのだが」と願う。

「こがん、みたんなかことは、なか（ご）んなにみつともないことはないの（意味）」と思いはじめた『かつご会』が今年創設20周年を迎える。田中さんは、9月27日に行われる記念イベントを盛大にするため、準備に追われている。

ハッピーバースデー

今月で1歳になります

<p>池田 萌菜 ちゃん 牛深町 父・将行さん 母・美寿々さん</p> <p>2人のお姉ちゃんに負けないくらい元気いっぱい育ててね♪</p>	<p>森 咲太 くん 本渡町本泉 父・常法さん 母・あきこさん</p> <p>咲太！いっぱい笑って大きくなあれ!!</p>	<p>濱 紅葉 ちゃん 川原町 父・修一さん 母・由美さん</p> <p>みなとにいちちゃんと仲良く、すくすくと大きくなあれ♡</p>
<p>橋本 大和 くん 八幡町 父・直樹さん 母・ゆかりさん</p> <p>いっぱい食べて、遊んで、みんなを和ませよーっと♪</p>	<p>宮本 明奈 ちゃん 有明町赤崎 父・和徳さん 母・真美子さん</p> <p>いつも笑顔がステキな明奈ちゃん♡明るく元気に育ててね!</p>	<p>宮本 凰佑 くん 御所浦町横浦 父・達郎さん 母・美香さん</p> <p>つまみ食いと踊りが大好き!!そらに、仲良くしてね。</p>
<p>浦川 愛翔 くん 有明町楠南 父・一也さん 母・美佳さん</p> <p>いたずら好きの僕だけど、みんなから愛されています♡</p>	<p>濱洲 廉征 くん 本渡町広瀬 父・健喜さん 母・美香さん</p> <p>お歌が大好き!!毎日元気いっぱいです!!すくすく育ててネ!!</p>	<p>村田 真菜 ちゃん 亀場町亀川 父・勝貴さん 母・真理子さん</p> <p>わが家の天使♡いっしょに、ゆっくり成長して行こうね♡</p>

10月で満1歳になるお子さんを募集します!

- 応募期限=9月10日(木)まで(必着)。
- 応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

現代に息づく 歴史の証

「上田家文書」(天草町)

上田家は萬治元年(1658年)以降、高浜村で代々庄屋を務めた旧家です。この上田家伝来の古文書群は総数6,000点を超えており、とりわけ江戸時代後期から明治時代に至るまでの御用日記や各種村政史料が充実しているため、同村の当時の状況を克明に知ることができます。この膨大な史料の大半を占めているのが行政記録ですが、中には隠れキリシタン関連記録、砥石や陶石、窯業関連史料など、たいへん貴重なものも含まれています。特に7代目庄屋・上田宜珍が著した『天草島鏡』と通称『上田宜珍日記』は、天草の歴史を知るうえ



▲古文書群の一部(上田資料館収蔵)

で欠かすことができません。そのほかにも、近世の窯の概要を記載した「近国焼物山大概書上帳」など、注目すべき史料が多く残されています。これらは質・量ともにたいへん優れており、昭和50年に近世史料としては初めて県の重要文化財に指定されました。

地域ぐるみ
人が動く
地域が動く
天草が動く

地域主体の地域整備に取り組み

嵐口地区振興会(竹部正徳会長)

嵐口地区振興会では、1年を通して、多くの事業を実施しています。その中でも今年度のメイン事業として、平成21年度水保・芦北地域振興財団地域振興事業の助成を受け、「嵐口地区のふれあい交流事業」を行っています。

これは、昨年度嵐口地区自治会上脇支部が、同財団の助成を受けて実施した「憩いの広場整備事業」を基に、交流人口の増加による地域活性化を目的として、修学旅行生や観光客向けの野外体験学習などの新たな機能を加えた「ふれあい交流広場」を整備するものです。事業内容としては、あずま屋の設置、化石などの陳列、体験農園や水路の整備などを計画し、現在はあずま屋の設置に向けた準備作業を

進めているところです。また、地元の檜の木などを使用した炭焼きにも取り組んでおり、できた炭は嵐口春日炭として同振興会の事業資金確保のため販売も行っていきます。

今後も、嵐口地区のさらなる発展を旨とし、住民一丸となつてがんばっていききたいと思っております。

▲今年度新たな整備を行う「憩いの広場」

【編集発行】

熊本県天草市役所
総務部秘書課広報広聴係
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp



先月の健診で視力が異常に落ちていたので、再度眼科で視力を測定したところ、右目が少し悪くなっていただけでした。若い女性がていねいに測定してくれた訳ではない？と思うのですが。今は、コンタクトレンズも新調し“ひっぼげる”ように見えています。【凡】

知らないうちに梅雨が明け、本格的な夏を実感しないまま、すでに秋の気配が漂っています。先日、出勤前に赤トンボが飛んでいるのを見て、早すぎた夏を惜しむ気持ちと、「今年のうだるような暑さを感じなくて助かった」と思う気持ちが交錯しています。【走】

先ごろ発売された“甘夏缶チューハイ”がわが家の食卓に。酒に弱い私は1缶を妻と半分こです。かつて有明町で販売単価日本一となった甘夏。チューハイの味も当然日本一のおいしさ。生産者のこだわりや熱き思いに文字通り“酔いしれた”夜となりました。【素】

先日、友人と日ごろの運動不足解消と減量のため、プールに行きました。2時間みっちり泳いだりした後、空腹のため食事を取ることに。大盛りメニューを頼み、さらにケーキも食べ、しっかり完食。結局は、消費カロリーを摂取カロリーが超えてしまいました。【葉】

～日本版「ケンチン飯」～



ケンチンは漢字で「巻織」と書き、禅僧が中国から伝えたものでもとは中国の精進料理です。それを日本人向けの混ぜ飯にしたのが『ケンチン飯』です。肉や魚を食べない昔のお寺では、タンパク源として豆腐を使っていました。この精進料理の『ケンチン飯』が、久玉地区を代表する郷土料理として継承されています。

材 料 (約20人分)

- ごはん …………… 1升
 - もめん豆腐 …………… 2丁
 - 大根 …………… 1kg
 - にんじん …………… 300g
 - 焼きかまぼこ …………… 1個
 - 薄口しょうゆ… カップ1/2
 - 砂糖 …………… 20g
 - 酒 …………… カップ3/4
 - 塩 …………… 少々
- ※とり肉、ちりめんじゃこ、しいたけなど加えてもよい。

作 り 方

- ①ごはんは水を少なめにして普通に炊く。
- ②大根、にんじん、かまぼこは1cm四方くらいに切る。
- ③なべに油を熱して豆腐の両面がこんがりとなるように焼き、なべの中で荒くくずす。
- ④③のなかに②の具材をいれて薄口しょうゆ、砂糖、酒を加えて混ぜながら煮る。
- ⑤材料がほどよく煮えてある程度汁気がなくなったら、穴あきお玉ですくってご飯とよく混ぜる。

提供：市食生活改善推進員協議会

市のシンボル



【市の花】
はまぼう



【市の木】
あこうの木



【市の鳥】
かもめ



【市の魚】
鯛

市民憲章

わたしたちは、将来にわたって夢と希望に満ちあふれた天草市となることを願い、ここに天草市市民憲章を定めます。

- 一 感謝の心をもち、豊かな「しぜん」を守ります
- 一 ふるさとを愛し、誇れる「ひと」を育てます
- 一 恵まれた風土を活かし、「ものづくり」に励みます
- 一 伝統と文化を学び、安らぎのある「まち」を創ります
- 一 世代の調和を大切に、健やかな「和」を広げます